



SERVICE DES PRISONNIERS DE GUERRE

十月廿五日
ブルリナ博士より

板東町

岩崎よし子様

百人町三三六番地

大久保 曲

東京府下

Abender:
Bando bei Tokushima
Japan

十九日のお菓本書きも何よりけこうな お菓子もたしか
にいたたまきまして、申さねない程お喜び申しました。
心からお禮を申し上げます。お菓子は實に旨しく
て、此の前の五ヶ年の間、其のお菓子程旨しい物を
お食べ申した事が一つもない。私はずっと前からよし子様は
甚だ上手です、ぬー。私はずっと前からよし子様に
何かものを差し上げるのでした。實には解放が
明日ですが何時ですかと思つて居る間、此の前の四五ヶ月
を費した者ですから、送るよりも待つて来る方が好いと
思つて、つい今迄御無沙汰を致しました。妻は今獨乙に居
て、手紙毎に「よし子様」によるしくいと書いてありますよ。
先はお禮がたがたに御通知まで。お身をお大切になさるよ